

2020 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	矢野 真理	職名	講師	学位	博士 (看護学) 日本赤十字九州国際看護大学 2019 年
----	-------	----	----	----	-------------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
看護教育 エンド・オブ・ライフケア 在宅看護	意思決定支援、臨床判断、超高齢者、エンド・オブ・ライフケア、熟練看護師

研 究 課 題
看護師の意思決定支援、臨床判断、クリティカルシンキングに関する研究

担 当 授 業 科 目
看護技術論 (1 年前期) 生活援助技術論 (1 年後期) 看護過程論 (2 年前期) 診療関連技術論 (2 年前期) 看護総合演習 (4 年前期・後期) 基礎看護学実習 I (1 年後期) 基礎看護学実習 II (2 年前期) 看護総合実習 (4 年前期)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【看護技術論】</p> <p>1 年生前期であるため、演習時の対応やコミュニケーションに細心の注意を払った。早期看護実習では、臨床実習で看護師の実際の仕事を見ることで今後の学びの動機付けになるため、積極的に学生が参加できるよう支援した。</p>
<p>授業科目名【診療関連技術論】</p> <p>演習の支援の際、解剖生理や根拠に基づいて学べるような説明を行い、学生が質問をしやすい雰囲気作りに努めた。</p>
<p>授業科目名【生活援助技術論】</p> <p>技術演習で1年生の支援を行った。学生が積極的に参加でき、楽しんで演習できるように配慮しながら関わった。栄養・褥瘡について、講義・演習担当を行った。学生自身が思考できるような演習方法で、外部講師に依頼するなど実践を意識した取り組みを行った。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本看護協会会員 看護質的統合法 (KJ法) 研究会会員 日本緩和医療学会会員 日本ホスピス在宅ケア研究会会員 日本赤十字学会会員 日本看護科学学会会員		1994年 4月～現在に至る 2014年 4月～現在に至る 2015年 6月～ (2016年脱会) 2017年 2月～現在に至る 2018年 4月～現在に至る 2019年 5月～現在に至る

2019年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) なし				
(翻訳) なし				
(学会発表) 1. 急性期病院の熟練看護師が行うエンド・オブ・ライフケアにおける超高齢者の療養場所選択についての意思決定支援の構造 (口頭発表)	単著	2019年11月	第 39 回日本看護科学学会学術集会(交流集会)で発表予定 (石川県)	質的統合法 (KJ法) という質的分析アプローチは、複雑な看護現象を概念化できる優れた方法と考えられている。そこで、研究方法論について、発表者3名と参加者で議論を深める機会とした。

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
なし			

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
なし			

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
特定非営利活動法人 バングラデシュと手をつなぐ会会員		2019年 3月～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

学生個人情報保護委員 研究推進委員
----------------------